教室・講座・イベントの成果報告

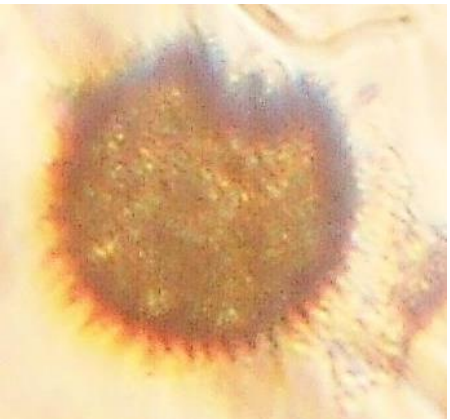
主 催 者 名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ				
題 名・副 題	手作り顕微鏡を作ってミクロの世界をのぞいてみよう（花粉編）				
月 日・時 間	2018 年6月 23 日（土） 10：00～12：00				
開 催 場 所	はまぎん こども宇宙科学館・１階会議室				
部会・講師名	廃棄物部会（自然環境部会） 石井 榮	参加者数	18 名	講師数	６名

写 真

顕微鏡の原理と花粉の説明

花粉の採集はチョット難しい

わあ～、見えた見えた！



手作り顕微鏡写真「タチアオイ花粉」

成 果 解 説

この教室は、植物が自然環境の中で繁殖する仕組みと花粉の役割りを学び、手作り顕微鏡で花粉の極微細な構造を理解し、自然の不思議な機能や現象の理解を深めることが目的です。

始めに、光の直進、反射、屈折の性質について学んだ後、ルーペ、水を入れたペットボトル、ビー玉、水滴などを使ってレンズ機能を実験で確認。今回製作する顕微鏡の焦点距離や像の結び方の特徴を説明しながら、顕微鏡に使用する球レンズを用いたレンズホルダーとプレパラートを作りました。

観察した試料は、タチアオイと昼咲き月見草の花粉、授業の進行がスムーズに進んだのでムラサキツユクサのオシベの毛の細胞の観察にも挑戦。観察終了後は、花粉とは何か、植物がテリトリーを拡大するための戦略、特に、花粉の散布方法のうち、自然の風、昆虫や鳥が媒介するものについて解説しました。